

2019年3月7日(木) 第2日目 於:羽曳野キャンパス L204教室

9:00～ 受付開始

9:25～ 2日目開会の挨拶

※ 修士・・・発表12分・質疑応答 5分(1人17分)

※ 博士・・・発表20分・質疑応答10分(1人30分)

【発表者が発表後の休憩時に交見室(L201教室)にて待機しておりますので、ご質問やご意見などがある場合、どうぞご利用下さい】

第6群 生活支援看護学領域/家族支援看護学領域 9:30～10:59

座長: 米村 亮 (急性看護学)・新見 秀美(急性看護学)

| | | | |
|------|---|---------|--------|
| M-21 | 訪問看護ステーションの新任教育における新任看護師の教育ニーズと職業的アイデンティティの関連 | 在宅看護学分野 | 杉木 佐知子 |
| M-22 | 慢性心不全患者とともに生きる家族の体験 —配偶者に焦点をあてて— | 家族看護学分野 | 山口 望 |
| M-23 | 出産家族における家族の発達課題に対する父親の取り組み | 家族看護学分野 | 阿川 勇太 |
| M-24 | 気管支喘息をもつ子どものセルフケアの獲得に向けて看護師が必要と考える幼児を育てる親へのケア | 小児看護学分野 | 林 奈津子 |
| M-25 | 小児期発症の1型糖尿病女性が経験する月経周期に伴うセルフケア | 母性看護学分野 | 宇田川 直子 |

休憩

第7群 生活支援看護学領域 11:10～12:12

座長: 相原 ひろみ(看護管理・教育学)・安本 理抄(地域・精神看護学看護学)

| | | | |
|-----|---|----------|--------|
| D-1 | 特別養護老人ホームにおける看護実践能力尺度の開発 | 在宅・老年看護学 | 笹谷 真由美 |
| D-2 | 認知症高齢者の生活支援に向けた地域包括支援センター保健師のコーディネーション尺度の開発 | 地域・精神看護学 | 岡野 明美 |

昼休憩

第8群 生活支援看護学領域 13:00～14:33

座長: 岡野 明美(地域・精神看護学)・笹谷 真由美(在宅・老年看護学)

| | | | |
|-----|--|----------|--------|
| D-3 | 保健所保健師が行う結核患者支援の行動とその関連要因 | 地域・精神看護学 | 安本 理抄 |
| D-4 | 看護大学生の看護実践における倫理的行動と関連要因の検討 | 看護管理・教育学 | 相原 ひろみ |
| D-5 | 初期キャリア形成期看護師におけるピア・コーチングに関する研究 —尺度開発とピア・コーチングが及ぼす影響の探索 | 看護管理・教育学 | 富田 亮三 |

14:33～ 閉会の辞 旗持 知恵子 看護学副研究科長